

アルファガーデン 9月の見どころ

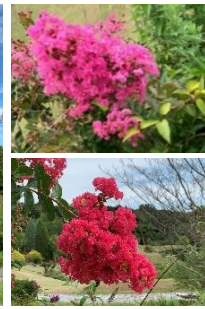
※開花時期がずれることもあります

【花木類(花や実を観賞する樹木)】



① サルスベリ

百日紅と書き、夏から秋まで長く咲く。1mほどのわい性タイプから街路樹にするような中木タイプなどがある。



② シマサルスベリ

奄美諸島、沖縄、台湾などに自生する。サルスベリより樹高は大きくなるが花は小さくやや地味。暖かい淡路島では生育良好。



③ ミヤギノハギ

ハギの中でも花が最も美しく、庭木などによく使われ、園芸品種も多くある。花を多く付け、しなだれるのが特徴。



④ シラハギ

ミヤギノハギの白花変異種。



⑤ ムゲ

韓国の国花。多くの品種があり庭木としてよく使われる。



⑥ ミツバハマゴウ ‘プルプレア’

ミツバハマゴウの園芸品種で、葉の裏が紫で美しい。



⑦ ヤマボウシの実

6月頃開花した花が9月頃実になり赤くなる。熟すと甘くて美味しい。



⑧ コムラサキの実

ムラサキシキブの名で流通し、庭木などによく使われているが別種。



⑨ シロコムラサキの実

コムラサキの園芸品種で実が白い。



⑩ モクレンの仲間の実

4月に開花したモクレンの仲間が鮮やかな実をつける。写真はコブシの実。

【草花類】



⑪ オオベンケイソウ ‘オータムジョイ’

美しい多肉植物の宿根草。乾燥に強い。



⑫ ルドベキア トリロバ‘タカオ’

夏から秋にかけて小輪の花が咲く。



⑬ ミズカンナ

葉がカンナに似ているアメリカ州南部原産の水生植物。



⑭ ソリダゴ ‘ファイヤーワークス’

セイタカアワダチソウの仲間。



⑮ トウテイラン

葉はシルバーで美しい。国内の自生地では絶滅危惧。



⑯ ヨメナ(淡路産)

田の畔などに見られる野菊。当校のものは学校付近から採取。



⑰ オミナエシ(淡路産)

秋の七草のひとつであり、なじみ深い宿根草。当校のものは淡路産。



⑱ フジバカマ(明石産)

秋の七草のひとつだが、自生地は減っており準絶滅危惧種。当校のものは明石産。



⑲ ヤブラン

国内の山野の林内などに自生し、丈夫で花も美しい。右側は斑入り品種。



サルビア類5種 秋に美しくなるサルビア類

左から ②⑩レウカンサ(バイカラー) ②⑪レウカンサ‘ピンクアメジスト’ ②②ガラニチカ ②③アズレア ②④‘ビッグブルー’

【球根類】



②⑤ヒガンバナ

②⑥シロバナマンジュシャゲ

②⑦アキザキスノーフレーク

②⑧タマスダレ

【グラス類】



②⑨トキワススキ

ススキに似ているが常緑で大型。花期も早い。

③⑩パンパスグラス

大型のグラス。右は斑入り葉品種。穂がピンク色になる品種もある。

③⑪カラマグロステリス・ブラキトリカ

日本に自生するグラス。



③⑫パニカム‘チョコレート’

③⑬パニカム‘ヘビーメタル’

③⑭フウチソウ

③⑮斑入りセイヨウダンチク

